

森と緑の会だより

春号
2023

【表紙写真】

皆伐体験を通して 林業について学ぶ

山の学習支援事業にて、
2月8日(水)に大豊町森林
組合の協力の下、大豊学園5
年生らが伐採作業を体験し
て森林を守り維持していく
ことの大切さや林業の仕事
について学習しました。6ペ
ージに関連事業を掲載して
います。





緑の広がりで地域を元気に！

緑の募金

「緑の募金」による植樹活動

毎年秋に募集する苗木支援や交付金、当会支部が実施する植樹事業等で、令和4年度は県内 112カ所に 2,799 本の苗木が植樹されました。



3月 11日（土） 芸西観光開発

芸西村桜ヶ丘公園を管理する芸西観光開発と芸西子ども会の子どもたち、役場関係者などでソメイヨシノ 20 本を植樹しました。



1月 21 日（土）

高知県立春野総合運動公園

高知北ライオンズクラブからの寄付により、ヤマザクラ 5 本を体育館横の斜面に植樹しました。



3月 12 日（日）

佐喜浜元気プロジェクト

遍路道沿いの景観整備のために地元有志や小学生ら約 30 名が参加し、室戸市の固有種「室戸桜」を植樹しました。



こうち木育ひろば in 香美市立図書館かみーる

12月18日（日）、新しくオープンしたばかりの香美市立図書館「かみーる」にて、香美市、高知県木材普及推進協会と共に「こうち木育ひろば」を開催しました。

木にふれあうことで、子どもたちの健やかな成長を促し、自然の大切さを感じ行動できる人を育てることを目的に、緑の募金を活用して実施しました。

ワークショップ

7つの木育体験ブースを設けて、のべ89名の子どもたちや親御さんらが木にふれて、クリスマスやお正月に向けたものづくりを体験しました。



●竹とり箸



●木のクリスマスツリー



●ひのきのハンバーガー



●回転木琴



●ミニ門松



●トントウ
フィンランドの
森の妖精



●竹コマ
バードカービング

木のおもちゃコーナーと木製品の展示

ワークショップ会場の中央に木の玉プールや積み木などで遊べるコーナーをつくり、たくさんの子どもたちが木のおもちゃにふれて楽しみました。「かみんぐBABY 木のギフト」など高知県産の木製品も展示しました。



森のおはなし会

午前と午後の2回、図書館スタッフによる30分ほどの読み聞かせ、手あそびをしました。スタッフが絵本を見せながら語りかけるように話を始めると、小さな子どもたちは夢中になって聞き入っていました。



緑の募金公募事業では、森林整備や緑化推進等の活動を実施する団体に対して活動支援を行っています。令和4年度は5団体に助成しました。毎年、10月15日から11月30日に翌年度の事業を募集していますので、是非ご活用ください。

汗見川活性化推進委員会の取り組み

本山町汗見川森に親しむグリーンウッドワーク体験事業

汗見川活性化推進委員会は、汗見川ふれあいの郷「清流館」を拠点に、間伐体験などの豊かな自然を生かした体験活動を行っています。今回は、地域の豊かな自然により親しんでもらうために、グリーンウッドワークを体験する事業を実施しました。

樹木の見分け方を学ぼう！

10月2日（日）、樹木医の中田麻祐子さんを講師として招き、樹種の見分け方の基本を教えていただいた後、清流館周辺を散策しながら樹木を観察し、採取した枝葉の標本を作りました。



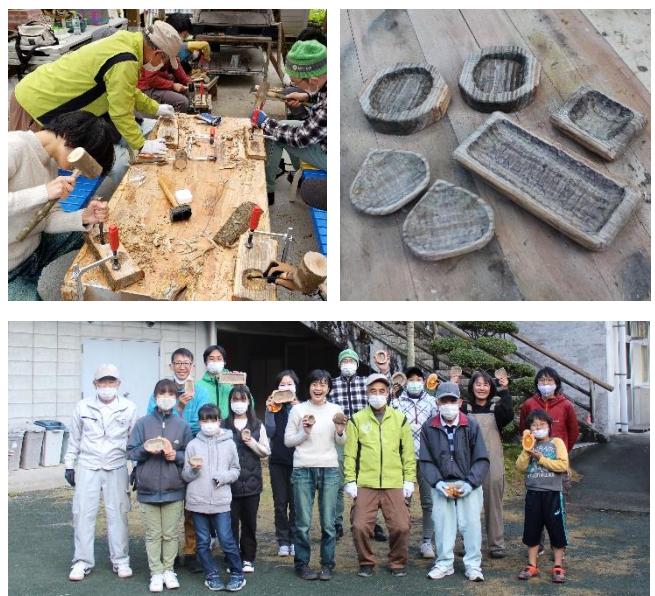
のみで豆皿をつくろう

11月26日（土）、筒井木工所の長瀬明廣さんが講師となり、樹種による加工の特徴や銛（せん）やのみの使い方を学び、栗の木から豆皿を作りました。

作業は、まず丸太をノコギリで切って、斧で板状に割ります。次に加工する木を固定する「削り馬」という道具に座り、木の断面を銛で削って平らにします。



作りたい豆皿の大きさや形を決めたら、のみや小槌を使って成形していきます。皆さん、会話を楽しみつつ、素敵な豆皿を作りました。



嶺北だけでなく高知市、安芸市、越知町、仁淀川町、大月町、梼原町など県内各地から参加し、グリーンウッドワークへの関心の高さがうかがえました。汗見川活性化推進委員会では、体験プログラムを増やし、地域スタッフ（指導者）を養成するために、事業終了後も県内外のグリーンウッドワーク実践者と交流し、イベント等を開催しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
<https://asemikawa.com/>



こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

高知県の豊かな森林と山を守り育て、次代へと引き継いでいくため、「こうち山の日（11月11日）」の制定趣旨に沿った普及啓発に取り組む活動を支援しています。令和4年度はコロナウイルス対策を講じて20事業が実施され、のべ4,744人が参加しました。

香美市の資源を活かす会の取り組み

天空の庭園からのメッセージ～山の知恵と人のやさしさに出会う時間～

10月29日（土）、香美市物部町庄谷相の標高400mに位置する天空の庭園「紫翠園」にて山の暮らしの知恵を学ぶイベントが行われました。この場所は、園主の公文寛伸さんが自宅のある山を開拓し約20年の歳月をかけて作った庭園で、年間を通して100種類を超える季節の花や植物を鑑賞できます。

イベント実施前には、散策路に横木を入れ直す作業や園内の草刈りなどを行い、安全に散策できるよう準備しました。当日は、公文さんのこれまでの経験や苦労した話を聞き、自然と共に生きる生活の知恵や工夫を教えてもらいました。その後、公文さんや森林管理署の方の植物ガイドを聞きながら園内を散策し、園内の植林地では



現状を見ながら間伐の必要性や森林の役割についてお話をいただきました。昼食は地元の食材をふんだんに盛り込んだお弁当で山の幸を堪能し、午後からは竹で箸やカップなどの食器づくりを行いました。



このイベントを通して、参加者は豊かな森林の資源に触れ、天空の大自然を存分に満喫し、自然を大切にする心を育むことができました。

香美市の資源を活かす会では、場所や人々に光を当て、素晴らしい地域資源を引き継いでいく活動に今後も取り組んでいきます。当日の様子は、高知工科大学研究連携課の協力で動画撮影され、YouTubeでご覧いただけます。

令和5年度こうち山の日推進事業費補助金のご案内

募集期間 1次募集は5月12日に締め切りました。
2次募集を行う場合は5月中旬以降にホームページで告知します。

事業期間 交付決定日から2024年1月末まで

※詳細は、当会のホームページでご確認ください。

高知県の豊かな森林環境について学び、体験する森林環境学習を支援しています。令和4年度は81校6,533名の子どもたちが学習しました。

プログラム紹介：森林入門、チームワークでサバイバル

10月の二日間、高知市立一宮小学校5年生85名を対象に、緑豊かな高知の自然に心を寄せ、森林を守ろうとする心を育むことなどを目標に、総合的な学習の時間を使って森林についての事前学習と体験プログラムを実施しました。

森林学習

事前学習として、学校に高知県立森林研修センター情報交流館の講師を招き、日本や高知県の森林率、木材の生産、水源涵養、土砂流出や地球温暖化防止、生き物を育てる、海とのつながりなど森林の役割について児童らも自ら考えながら学習しました。また、針葉樹や広葉樹の葉や実に実際にふれて見た目や手触り、匂いなどそれぞれの違いを体感しました。



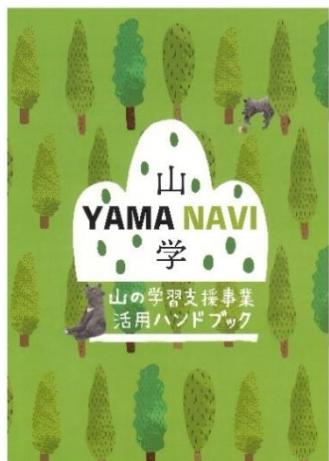
森林体験ミッション

事前学習の1週間後、情報交流館を訪問し、体験学習をしました。

たくさんの種類の葉や実（森の色）を集める、生き物の痕跡を探すなど、児童らが協力して森林内で体験ミッションをこなしていきます。地図に示されたポイントで「ヤッホー」と叫ぶミッションは、施設からトランシーバーで「聞こえました！」と返答があるとクリアです。



施設に戻り、採集した植物を分類し、発表用に見せ方を工夫しながら用紙に貼り付けていきます。植物の紹介やその他に発見したもの、驚いたこと、感想などを発表し、全員がミッションをクリアしました。



森林環境学習プログラム集 「YAMA NAVI：山学」の紹介

「身近な自然に親しむ」、「森林の働きを知る」、「森林資源の活用」、「山・川・海のつながり」、「地球温暖化・エネルギー」に分類された30のプログラムを当会ホームページでご覧いただけます。山の学習支援事業や山の一日先生との学習、森林イベントなど、森林環境学習の企画にご活用ください！

https://www.moritomidori.com/business/yama_gakusyu_program.html

地域住民や森林所有者らが協力して行う里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援しています。令和4年度は38団体が県内各地で活動を行いました。

西土佐やまもりーず（四万十市西土佐）の取り組み

西土佐では、かつては多くの人が林業や炭焼きを生業としていましたが、現在は過疎化と高齢化が進み、手入れがされずに放置された山林が多くなっています。

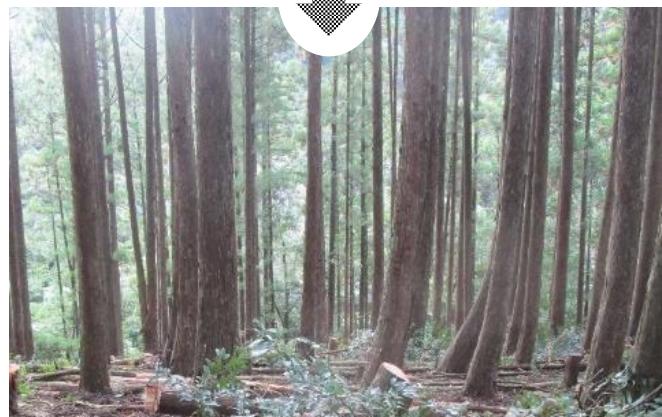
この会は、豊かな自然づくりを目指し、山林の整備や登山道・歩道の整備、炭木の原木の活用などを行うために、平成26年1月に発足しました。現在、会員数は22名になります。

平成26年度から交付金事業を実施し、施業地ごとに山の地形や環境に沿って生物多様性、水源涵養、土砂災害防止などを考慮しながら、どのような手入れをするのか、目指すのはどのような里山林なのかなど話し合いながら進めています。

初期の頃は、植林内の除伐、クヌギ林の除伐、侵入竹の除去と登山道整備を行いました。現在は、西土佐のほか四万十町昭和地域からの要望もあり、作業地を広げて整備を進めています。

また、交付金事業で伐採した材などを利用して炭焼きを行い、出来上がった木炭を希望する住民に販売もしています。

今後は、以前整備した山林や登山道の状態の確認を行いながら、様々な生物が生息でき、色々な樹種で成り立つ里山林を目指して活動していく予定です。



本事業で整備しているスギ植林地。雑木を除去し、間伐することで、光が差し込み、明るい林内になりました。

令和5年度森林・山村多面的機能発揮対策交付金のご案内

募集期間	1次募集は4月28日に締め切りました。2次募集を行う場合はホームページで告知します。
事業期間	交付決定日から2024年1月末まで
支援の対象	<ul style="list-style-type: none">・3人以上で構成する活動組織であること・森林経営計画の策定されていない0.1ha以上の森林であること・3年間活動を行うこと

支援できる内容

【地域環境保全タイプ】里山林の景観を維持する活動や侵入竹の伐採・除去・荒廃竹林の整備活動

【森林資源利用タイプ】薪炭材やしいたけ原木などとして利用するために広葉樹等を伐採・搬出する活動

※この他に上記と組み合わせた作業道整備や鳥獣害防止柵の設置、資機材の購入・設置に対する支援もあります。



緑の募金にご協力ありがとうございました！

令和4年（令和4年1月1日～令和4年12月31日）募金額

11,112,697 円

皆さまからの募金は、地域の緑化や県内各地の森林整備等に役立てられています。

令和4年度緑の募金感謝状贈呈

毎年、一定額以上の寄付をいただいた方や募金活動に協力いただいた方に感謝状を贈呈しています。

国土緑化推進機構理事長 感謝状

- ・マックスバリュ西日本株式会社
- ・株式会社よどや
- ・株式会社建設マネジメント四国



ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社様よりミウチャリティーゴルフコンペ参加費の一部 300,000 円を緑の募金としてご寄付いただき、10月 20 日に感謝状贈呈式を行いました。

高知県知事 感謝状

- ・JAグループ高知
- ・ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社



マックスバリュ西日本株式会社様より有料レジ袋の収益金 571,004 円を緑の募金としてご寄付いただき、10月 22 日に森林環境学習フェアにて感謝状贈呈式を行いました。

高知県森と緑の会理事長 感謝状

- ・ダイドードリンコ株式会社
- ・株式会社土佐山田ショッピングセンター
- ・イオンリテール株式会社
- ・日鉄鉱業株式会社鳥形山鉱業所
- ・株式会社西森建設 　・陸上自衛隊高知駐屯地
- ・新進建設株式会社 　・株式会社仁淀工業
- ・岩井建設株式会社 　・株式会社ナンコクスーパー



● 緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ（9種類）：500円以上

マルシェバッグ（2種類）：1,000円以上

ランチバッグ（4種類）：1,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

春の緑の募金キャンペーン

3/1から5/31は春の緑の募金強化期間です。

緑の募金にご協力をお願いします！



4/14（金）から4/16（日）に第51回みどりの週間行事を丸ノ内緑地で開催。たくさんの子どもたちが竹とんぼづくりや木工体験をしました。また、街頭募金活動では多くの方に募金にご協力いただきました。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市桟橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5階

電話番号 088-855-3905 FAX番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

発行

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

